

月に 1 回以上ヘアサロンに行く女性 500 名に聞いた「ヘアケアに対する意識実態調査」

髪を乾かすことを負担と感じている人が 7 割

美容室帰りの仕上がりを 9 割が求めるも、そのうち 7 割弱が再現できていない

ドライヤーの温度熱、風量調整の自動化を求める女性が 7 割を大きく超える

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス BCL カンパニー（本社：東京都新宿区、カンパニーエグゼクティブ プレジデント：大村和重、以下「BCL カンパニー」）は、月 1 回以上ヘアサロンに行く 20 代から 60 代の女性を対象に「ヘアケアに対する意識実態調査」を実施しました。当調査は、毎日のヘアケアに感じている負担感や、まだ満たされていないニーズを探ったものです。その結果、「髪を乾かす」ことが美容のルーティンの中でも負担になっていることや、髪を乾かすことによる乾燥やパサつきが、多くの女性の悩みになっている現状が明らかになりました。

サマリー

- ・「髪を乾かす」が美容習慣の中で最も重い負担に。7 割の女性が実感
- ・負担を感じる原因は「乾かすのにかかる時間」と「熱ダメージへの心配」
- ・髪の美しさを損なうと思う最大の要因は「乾燥・パサつき」
- ・9 割が求める「美容室帰りの仕上がり」。そのうち 7 割弱が再現できていない
- ・技術不足をドライヤーの機能に求める人が 7 割を大きく超える

「髪を乾かす」が美容習慣の中で最も重い負担に。7 割の女性が実感

女性が入り入れる美容に関するルーティンにはヘアケアをはじめスキンケアやボディケア、メイクアップなど様々なものがあります。どの工程を負担に感じるかを尋ねたところ、「髪を乾かす（ドライヤー）」と答えた女性が 72.2%にのぼり、他の項目と比べて格段に高い数字となりました。続いて多かったのは「髪をセット・スタイリングする」で 49.8%、ヘアケアが特に大きな負担になっていることを示す結果となっています。

美容に関するルーティンの中で 負担を感じる工程

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
髪を乾かす	72.2%	71.0%	74.0%	85.0%	72.0%	59.0%
ヘアセット	49.8%	50.0%	59.0%	60.0%	37.0%	43.0%
メイクアップ	40.6%	45.0%	44.0%	51.0%	40.0%	23.0%
スキンケア	35.0%	38.0%	41.0%	45.0%	28.0%	23.0%
ボディケア	33.8%	31.0%	35.0%	46.0%	30.0%	27.0%
ネイルケア	29.4%	27.0%	27.0%	33.0%	31.0%	29.0%
上記にあてはまる 工程はない	9.6%	11.0%	8.0%	4.0%	9.0%	16.0%

負担を感じる原因は「乾かすのにかかる時間」と「熱ダメージへの心配」

そこで「髪を乾かすこと」が負担と回答した 361 名に対し、その理由を詳しく聞きました。最も多かったのは「乾かし終わるまで時間がかかる」(75.1%)で、2 番目に多かったのは「熱ダメージが心配」(44.6%)。それに関連して「適切な“温度”調整が難しい」が 20.2%、「適切な“風量”調整が難しい」も 11.6%おり、ドライヤーによる髪へのダメージが美容のルーティンの負担になっていることが明らかになりました。特に「温度調整」や「風量調整」の数字が 20 代～30 代で高く、若い世代ほど髪へのダメージに敏感であり、ドライヤーの使い方に苦労している現状が伺えます。

髪を乾かす時に、気になる・面倒だと思うこと

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
乾かすのに時間がかかる	75.1%	62.0%	73.0%	78.8%	81.9%	79.7%
熱ダメージが心配	44.6%	33.8%	50.0%	48.2%	47.2%	42.4%
ドライヤーが重く疲れる	42.7%	47.9%	45.9%	44.7%	36.1%	37.3%
音が大きいの	27.1%	22.5%	23.0%	27.1%	37.5%	25.4%
適切な温度調整が難しい	20.2%	31.0%	27.0%	18.8%	12.5%	10.2%
手元の操作が多くて面倒	17.2%	18.3%	28.4%	12.9%	13.9%	11.9%
その他	13.0%	7.0%	8.1%	10.6%	19.4%	22.0%
適切な風量調整が難しい	11.6%	23.9%	14.9%	7.1%	5.6%	6.8%
特にない	2.8%	1.4%	4.1%	3.5%	0%	5.1%

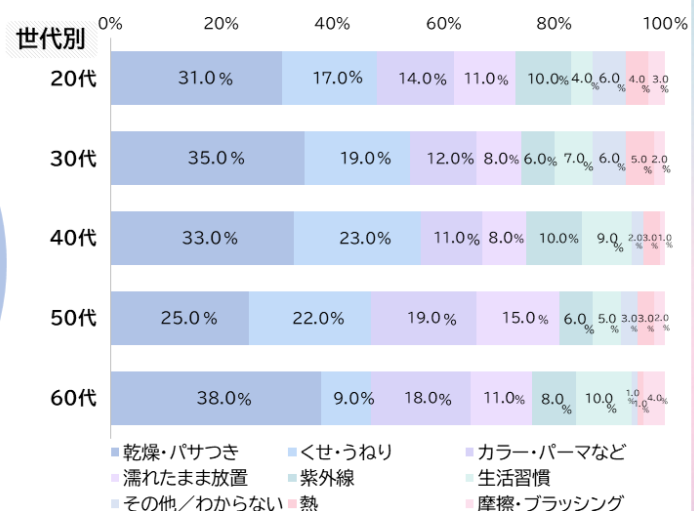
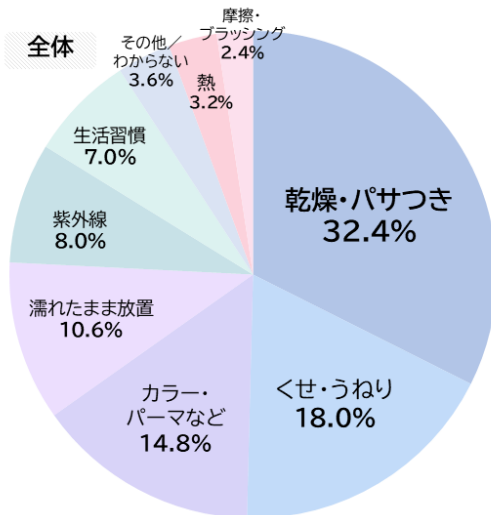
<回答者数:「ドライヤーが負担」と回答した女性361名/複数回答/全体降順>

髪の美しさを損なうと思う最大の要因は「乾燥・パサつき」。ドライヤー後に約 7 割が「パサつき・広がり」を実感

髪の美しさを損なう要因として最も多く挙げられたのは「乾燥・パサつき」で 32.4%の女性が回答しました。髪の毛の乾燥やパサつきの主な原因の一つが、ドライヤーによる熱や風の当てすぎと考えられます。

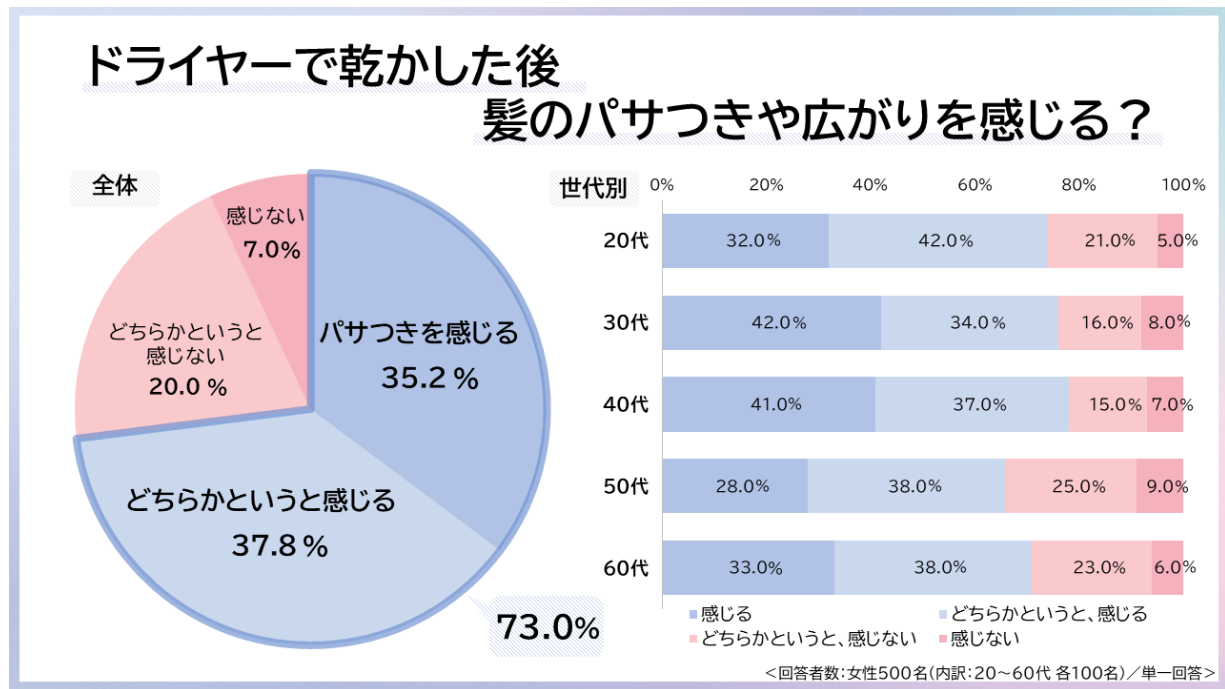
髪の美しさを損なう要因として

最もあてはまると思うもの



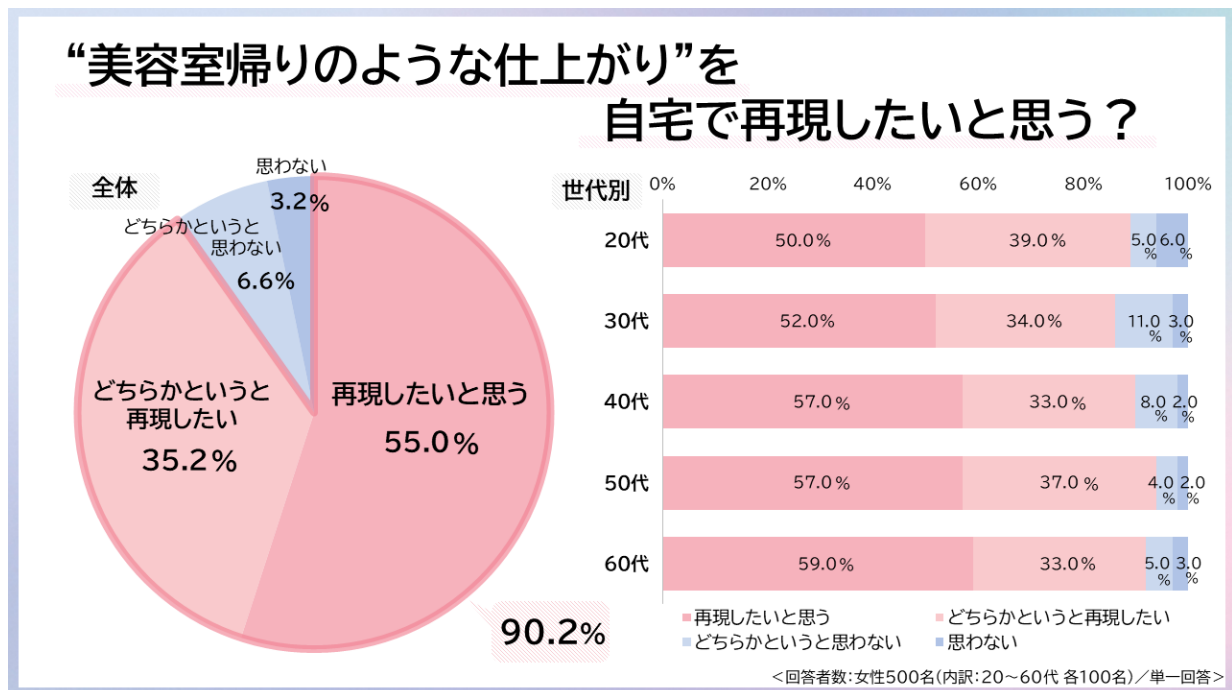
<回答者数:女性500名(内訳:20～60代 各100名)/単一回答/全体降順>

実際に、ドライヤーで髪を乾かした後に、髪のパサつきや広がりを「感じる」という女性は 73.0%にのぼり、多くの人が熱や乾燥による水分の不足やダメージを実感していることが明らかになりました。

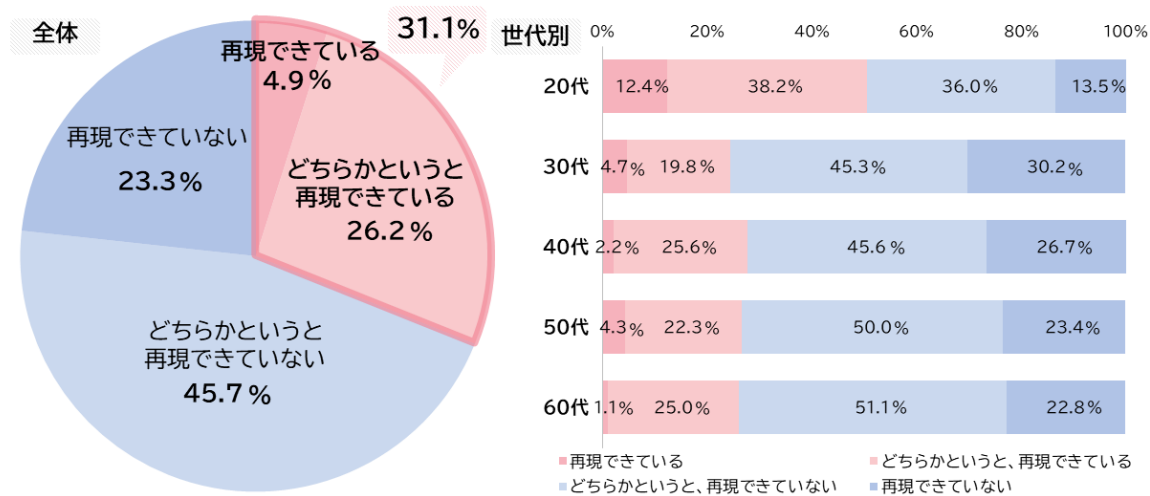


9割が求める「美容室帰りの仕上がり」。そのうち7割弱が再現できていない

傷んだ髪の毛が蘇って、綺麗になったと感じるのが美容室での仕上がりです。プロの技術とトリートメントなど高品質の薬剤によって髪の毛の状態が整えられるため、90.2%もの女性が「美容室帰りのような仕上がり」を自宅で再現したい」と考えています。しかし実際には、ある程度でも再現できている人は31.1%にとどまり、69.0%もの人が再現できていません。

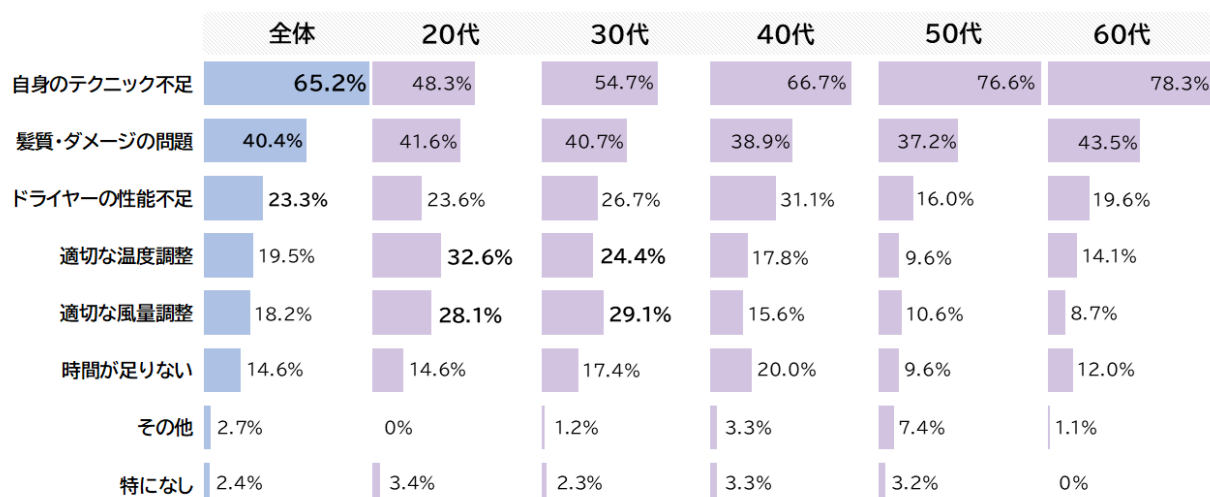


“美容室帰りのような仕上がり”を どの程度再現できていると思う？



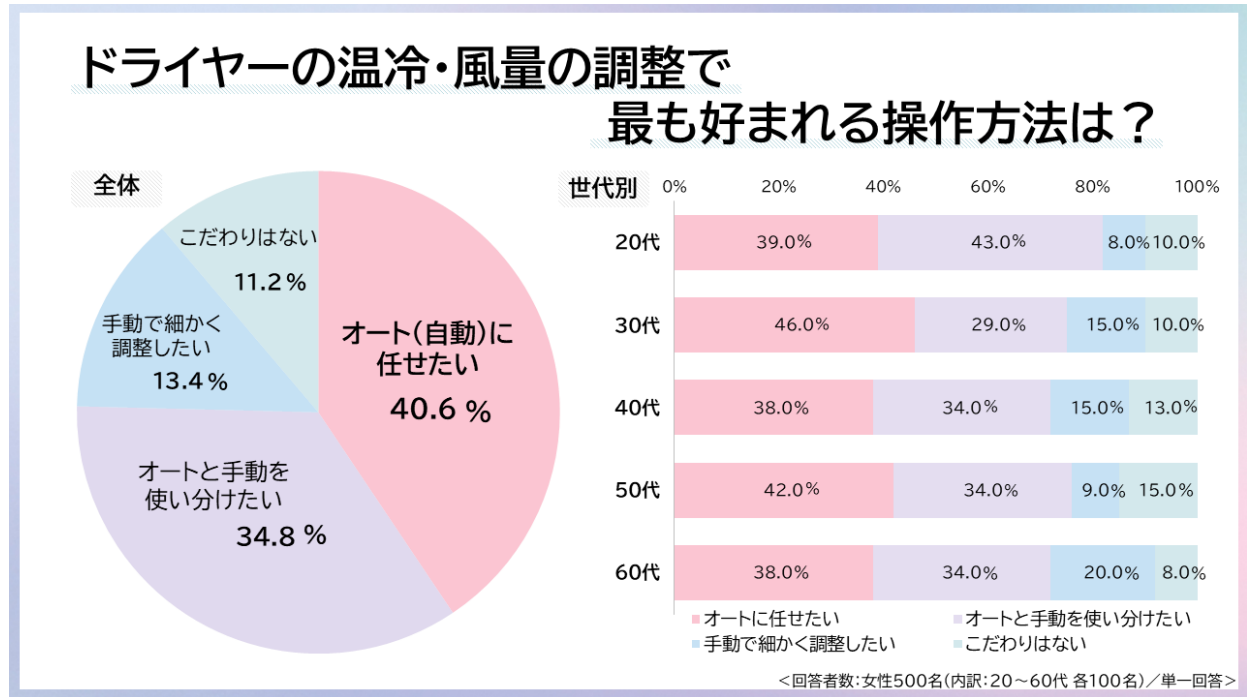
再現が難しい理由として「自身のテクニック不足」65.2%と挙げる人が最も多く、「髪質・ダメージの問題」40.4%、「ドライヤー性能が不足している」23.3%と続きます。特に20代、30代の若年層では、ここでも温度調整や風量調整の難しさを上げる人が多く見られ、自宅でのヘアドライが理想の仕上がりを妨げている一因となっているようです。

“美容室帰りのような仕上がり”を 再現するために難しいこと



技術不足をドライヤーの機能に求める人が7割を大きく超える

難しいドライヤーの温冷や風量の操作をドライヤーの機能に任せたいというニーズも高まっています。調査では、「オート（自動）で任せたい」が40.6%を占め、「オート（自動）と手動を使い分けたい」という人も34.8%と、あわせて75.4%の人がドライヤーにオートでの温冷・風量調節を求めていることが分かりました。プロの仕上がりを求めて自身のテクニックを補うためにドライヤーの高機能化へのニーズの存在が浮き彫りになりました。



BCL カンパニー初のドライヤー『MASTER MOIST』と女性のニーズ

2025年8月5日、BCL カンパニーとして初めて発売したドライヤー『MASTER MOIST』では、ボタンひとつで髪の状態や好みに合わせたケアを簡単に実現できることにこだわり、温度・風量・乾かす時間を自動で最適に制御する独自開発オートプログラムを搭載しています。今回の調査の結果からは BCL カンパニーのこだわりである髪の「水分量」と時間短縮、ブローの手間を軽減しながらご自身の髪やヘアケアを大切にしたい女性のニーズが合致していることが改めて確認できるものとなっております。本体重量 450g と軽量にもこだわっており、「便利美容」を体現した商品と言えます。基礎化粧品・メイクアップ商品の開発で培った“スキンケア発想”で女性の美容をヘアケアでもサポートしてまいります。

マスターモイスト公式ブランドサイト (<https://mastermoist.jp>)、一部外部サイトより販売を開始しております。また、一部店舗でもお取り扱いいたしますので随時公式ブランドサイトよりご案内いたします。

調査概要

調査名	ヘアケアに対する意識実態調査
調査対象	オリコン・モニターリサーチ会員 女性 20～60 代
サンプル数	月 1 回程度以上ヘアサロンに行く 500 名 (内訳：20 代、30 代、40 代、50 代、60 代／各 100 名)
調査期間	2025 年 7 月 11 日（金）～7 月 18 日（金）
調査手法	インターネット調査
調査機関	オリコン・モニターリサーチ

会社概要

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス BCL カンパニー

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー27F

製品に関するお問い合わせ：0120-303-820

ホームページ：<https://www.bcl-company.jp> ブランドサイト：<https://www.bcl-brand.jp>

公式 Instagram：https://www.instagram.com/bcl_company_official/

公式 X：https://twitter.com/BCL_company

< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス BCL カンパニー

マーケティング本部 広報宣伝部

早坂恵理子 [eriko.hayasaka@bcl.stylinglife.co.jp]／赤城俊介 [shunsuke.akagi@bcl.stylinglife.co.jp]

TEL：03-6872-5153